

# 形成外科 シニアレジデント カリキュラム

## 一般目標

形成外科に関する知識と技術の習得

## 行動目標

- 1) 形成外科診療における基本事項の習得
  1. 解剖・生理  
形成外科診療に必要な正常解剖と生理を理解する。
  2. 代表的疾患の病態  
担当した症例を通じて、また、勉強会・研究会・学術集会に参加して、各疾患の病態について知識を得る。
  3. 診療・診断法  
外来診療技術の習得、画像診断（X-P、超音波、CT、MRIなど）に関する理解、生検方法の習得など。
  4. 創傷管理  
術後処置、褥創・皮膚潰瘍の処置や管理法などの習得。
  5. 手術法  
各症例の手術の立案、基本的技術の習得。
- 2) 日本形成外科学会認定 専門医の取得
- 3) 学会・研究会での発表と学術論文の作成

## 研修内容

### 1年目

入院症例の主治医として、指導医と共に治療に携わる。  
指導医の外来診療（外来手術）に付き、外来診療技術を学ぶ。  
研究会・学術集会での口頭発表（症例報告）

### 2年目

基本的な手術症例を指導医と共に担当する。  
症例報告などの論文作成。臨床研究の開始。

### 3年目以降

基本的な手術症例を指導医の監督の下で執刀する。  
より多くの手術手技を習得。  
臨床研究の口頭・紙上発表。

## 週間予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	外 来	手 術	外 来	手 術	外 来 外来手術	病 棟 (1回/2週)
午後	病 棟 外来手術	手 術 病 棟	病 棟 外来手術	手 術 病 棟	部長回診 カンファ レンス	
夕	カンファ レンス		勉強会			

## 形成外科シニアレジデント研修を振り返って

中村陽子 (2006.4 研修終了)

私は天理よろづ相談所病院での 2 年間の初期研修後、形成外科シニアレジデントとして 4 年間の後期研修をうけました。

私が当院での後期研修を希望した大きな理由は二つあります。その一つが 4 年間という長期研修が可能である事です。形成外科ですので当然のことではありますが、手術手技を獲得することが大きな目標となります。手技の獲得には症例数をこなすことも重要ですが、術後経過をきちんと評価することも重要となってきます。



手術の結果を評価するためには、必然的に長期の観察が必要となるのです。この点で、4 年間じっくりと研修を行えることは大きなメリットと考えられます。

二つ目の理由は、病院自体の規模が大きいということです。形成外科は科の特性として、科単独の症例だけではなく、他科と関連する症例も多数あります。当院では大学病院レベルの症例も存在し、また標榜科も多数あるため、多岐に渡った症例を経験することが出来ます。

シニアレジデントという立場上、ジュニアレジデントの指導や救急業務が必須となり、決して負担が少なくはないと思いますが、形成外科の初期研修を受けるにはふさわしい病院であったと現在振り返っても思っています。